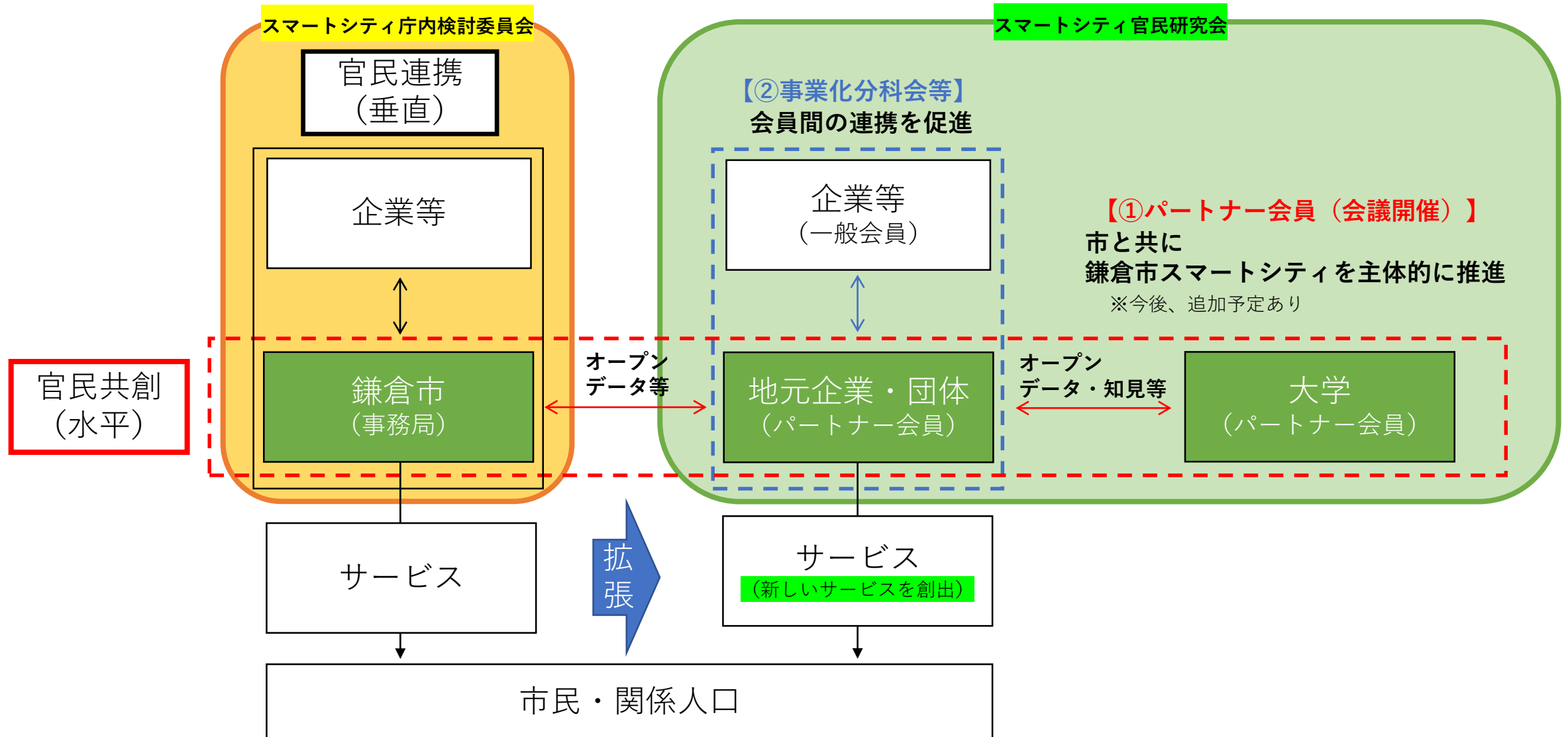


4 事業化分科会等の活用について

4-①スマートシティ官民研究会(市民目線で「公共」を再定義)【再掲】



4-② 事業化分科会等の活用について

スマートシティ官民研究会

パートナー会員

- ・ 江ノ島電鉄
- ・ カヤック
- ・ 湘南鎌倉総合病
- ・ 湘南モノレール
- ・ 慶應義塾大学SFC研究所
- ・ SCI-J

事務局 鎌倉市

設置

事業化
分科会
①

事業化
分科会
②

事業化
分科会
③

参加

一般会員
(153社)

パートナー会員
のいずれかと
連携意向

スマートシティ官民研究会事業化分科会

【目的】

分野横断的な取組又はデータ利活用の推進に資する活動の事業化に向けた調査、研究、検討及び実証等を行う

【活動対象】

<フェーズ1> 分野横断的な取組又はデータ利活用の推進により、地域課題の解決に資するものであって、事業の調査、研究、検討から実証に至る段階の活動

<フェーズ2> 分野横断的な取組又はデータ利活用の推進により、地域課題の解決に資するものであって、事業の実証からサービスの実装に至る段階の活動

【設置・参加】

- パートナー会員が設置を提案できる(提案会員)
- 分科会への参画を希望する一般会員は、パートナー会員のいずれか又は事務局(鎌倉市)の推薦を受け、全てのメンバーの承認を得ることで参画できる

【費用負担】

分科会の活動に要する費用はメンバーが負担するものとし、その額及び負担割合はメンバーが協議して決する